



市民クラブは、令和元年10月18日(金)に田上市長へ、令和2年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。要求書は、市政運営に対する考え方や市長が令和元年度「施政方針」で掲げた新たな重点プロジェクト「こども元気プロジェクト」「長崎×若者プロジェクト」「まちMICEプロジェクト」などに関する要望や人口減少・大型行事・平和問題等を含めて、従来の内容も踏襲し政策要求を大きく8項目について提出しました。政策要求の回答は、2月5日(水)に受ける予定となっています。

- 令和2年度の主な重点課題(抜粋)
- (1)安心して子どもを産める環境づくりと健全な子どもを育てる社会づくりの推進に努めるとともに、子育て世代を支援するために「子育て支援センター」未設置地区への設置を進めること。
  - (2)高齢者交通費助成(70歳以上)のICカード化を図ること。
  - (3)仮称「地域コミュニティ連絡協議会」の設置については、地域事情に合わせて自治会や各種団体などへの十分な説明と地域住民への意見を聴取し十分な理解のもと進めること。また、地域の担い手が少ない小規模なコミュニティに対しても積極的な支援を行うこと。併せて、自治会加入率の低下に歯止めをかける対策にも努めること。
  - (4)企業誘致で雇用確保、定住人口の維持  
将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・維持するとともに、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて全力で取り組むこと。
  - (5)長崎駅周辺(尾上町・幸町)の環境整備  
新市庁舎・新たな文化施設・MICEを含めた長崎駅周辺整備・新幹線整備と連続立体交差事業と民間で建設計画のスタジアム等大型事業の建設については、それぞれの関係先と連携のもと、完成後の交通体系など十分精査し万全を期すよう努めること。

# やさしい街づくり / 元気な長崎!

長崎市議会議員



# いつわ清隆 だより 第71号

令和2年1月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



令和2年2月上旬に運行予定のスロークーパー前にて

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで良い新年を迎えられた事とお喜び申し上げますと共に皆様方には、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。  
平成から令和となった昨年は、異常気象により8月の九州北部の集中豪雨、9月には千葉県周辺に甚大な被害を出した台風15号など、毎年のように自然災害が発生しています。  
長崎市も昭和57年7月23日に集中豪雨により死者・行方不明者299名の長崎大水害を経験しています、その当時を知る市民・議員・職員も少なくなっていますので、風化させない取り組みを行わなければなりません。

## いつわ清隆 10~12月 活動のあゆみ



11月3日 地域の秋まつり



11月1日 組合研修で市政報告



10月14日 市民体育・レクリエーション(ボウリング競技会)



11月24日 フランシスコ教皇様の集いに参列



11月17日 ハートセンター文化祭



11月9日 ながさき自治振興推進大会

### いつわ清隆の主な役割

- 【議会】
  - 建設水道委員会委員
  - 議会運営委員会委員
  - 長崎市議会核兵器廃絶議員連盟会長
  - 長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟副会長
- 【行政】
  - 長崎市行政改革審議会委員
- 【党務】
  - 国民民主党長崎県連常任幹事
- 【地域】
  - 女の都自治会会長
  - 西浦上東部地区自治連合会副会長
  - 女の都地区青少年育成協議会顧問
  - 長崎市消防団第三分団後援会副会長
  - 長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部支部部長
- 【その他】
  - 長崎市ボウリング協会会長
  - 瓊浦学園評議員

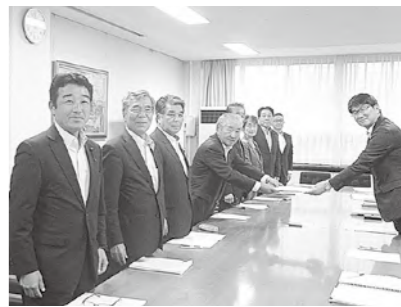
ご相談はお気軽に!

k.itsuwa

長崎市の都1丁目1-44-41-3  
自 宅 861-9599  
生活相談室 861-1985

私にとって、昨年は「貴重な経験と感謝の年」でした。一昨年3月に市議会議長へ就任し昨年の5月1日までの任期でありましたが、関係者の皆さんと政府や国会議員への要望活動や各種行事の参加など貴重な経験をさせて頂きました。  
又、4月に長崎市議会議員選挙では5期目の挑戦で皆さま方の多大なご支援で当選することが出来ました。感謝するのみです。  
長崎市が早急に取り組むべき最重要課題は、定住人口減少対策であり抜本的な対応策を行わなければなりません。  
一昨年の人口流出は転入より2,376人多く全国の市町村の中でワースト1位で歯止めがかからない状況となっています。  
長崎市の直近の人口の推移は、平成30年11月1日から令和元年11月1日までの1年間で5,261人減少していますので、長崎市に及ぼす財源の影響が大きくなる事が予想されます。  
また、①労働力人口の減少による地域経済への影響 ②少子化の進行による子育て・教育への影響 ③高齢化の進行による医療・福祉への影響が予想されます。  
今年、九州新幹線西九州ルート、長崎駅周辺の整備、交流拠点施設の建設や市庁舎の建て替えなど、将来の長崎のまちの基盤をつくる施策が待ったなしに進められようとしていますので議会として機能を更に発揮しなければなりません。  
今後とも、長崎市の発展のため、市政の活性化を目指すと共に、常に市民の皆さんと同じ目線に立ち、生まれ育った長崎を多くの皆さんに住んでいて良かった住みたいといわれるような、郷土長崎の発展に向けて全力で取り組んで行く所存でありますので、皆さま方の旧に倍するご支援・ご協力・ご指導を賜りますよう、よろしく願っています。

長崎市議会議員 五輪 清隆



市民クラブは、令和元年10月18日(金)に田上市長へ、令和2年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。要求書は、市政運営に対する考え方や市長が令和元年度「施政方針」で掲げた新たな重点プロジェクト「こども元気プロジェクト」「長崎×若者プロジェクト」「まちMICEプロジェクト」などに関する要望や人口減少・大型行事・平和問題等を含めて、従来の内容も踏襲し政策要求を大きく8項目について提出しました。政策要求の回答は、2月5日(水)に受ける予定となっております。

- 令和2年度の主な重点課題(抜粋)
- (1)安心して子どもを産める環境づくりと健全な子どもを育てる社会づくりの推進に努めるとともに、子育て世代を支援するために「子育て支援センター」未設置地区への設置を進めること。
  - (2)高齢者交通費助成(70歳以上)のICカード化を図ること。
  - (3)仮称「地域コミュニティ連絡協議会」の設置については、地域事情に合わせて自治会や各種団体などへの十分な説明と地域住民への意見を聴取し十分な理解のもと進めること。また、地域の担い手が少ない小規模なコミュニティに対しても積極的な支援を行うこと。併せて、自治会加入率の低下に歯止めをかける対策にも努めること。
  - (4)企業誘致で雇用確保、定住人口の維持  
将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・維持するとともに、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて全力で取り組むこと。
  - (5)長崎駅周辺(尾上町・幸町)の環境整備  
新市庁舎・新たな文化施設・MICEを含めた長崎駅周辺整備・新幹線整備と連続立体交差事業と民間で建設計画のスタジアム等大型事業の建設については、それぞれの関係先と連携のもと、完成後の交通体系など十分精査し万全を期すよう努めること。

# やさしい街づくり / 元気な長崎!

長崎市議会議員



# いつわ清隆 だより 第71号

令和2年1月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



令和2年2月上旬に運行予定のスロークーパー前にて

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで良い新年を迎えられた事とお喜び申し上げますと共に皆様方には、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。  
平成から令和となった昨年は、異常気象により8月の九州北部の集中豪雨、9月には千葉県周辺に甚大な被害を出した台風15号など、毎年のように自然災害が発生しています。  
長崎市も昭和57年7月23日に集中豪雨により死者・行方不明者299名の長崎大水害を経験しています、その当時を知る市民・議員・職員も少なくなっていますので、風化させない取り組みを行わなければなりません。

## いつわ清隆 10~12月 活動のあゆみ



11月3日 地域の秋まつり



11月1日 組合研修で市政報告



10月14日 市民体育・レクリエーション(ボウリング競技会)



11月24日 フランシスコ教皇様の集いに参列



11月17日 ハートセンター文化祭



11月9日 ながさき自治振興推進大会

### いつわ清隆の主な役職

- 【議会】
  - 建設水道委員会委員
  - 議会運営委員会委員
  - 長崎市議会核兵器廃絶議員連盟会長
  - 長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟副会長
- 【行政】
  - 長崎市行政改革審議会委員
- 【党務】
  - 国民民主党長崎県連常任幹事
  - 国民民主党長崎県第1区総支部常任幹事
- 【地域】
  - 女の都自治会会長
  - 西浦上東部地区自治連合会副会長
  - 女の都地区青少年育成協議会顧問
  - 長崎市消防団第三分団後援会副会長
  - 長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部支部長
- 【その他】
  - 長崎市ボウリング協会会長
  - 瓊浦学園評議員

ご相談はお気軽に!

k.itsuwa

長崎市の都1丁目1-44-41-3  
自 宅 861-9599  
生活相談室 861-1985

私にとって、昨年は「貴重な経験と感謝の年」でした。一昨年3月に市議会議長へ就任し昨年の5月1日までの任期でありましたが、関係者の皆さんと政府や国会議員への要望活動や各種行事の参加など貴重な経験をさせて頂きました。  
又、4月に長崎市議会議員選挙では5期目の挑戦で皆さま方の多大なご支援で当選することが出来ました。感謝するのみです。  
長崎市が早急に取り組むべき最重要課題は、定住人口減少対策であり抜本的な対応策を行わなければなりません。  
一昨年の人口流出は転入より2,376人多く全国の市町村の中でワースト1位で歯止めがかからない状況となっております。  
長崎市の直近の人口の推移は、平成30年11月1日から令和元年11月1日までの1年間で5,261人減少していますので、長崎市に及ぼす財源の影響が大きくなる事が予想されます。  
また、①労働力人口の減少による地域経済への影響 ②少子化の進行による子育て・教育への影響 ③高齢化の進行による医療・福祉への影響が予想されます。  
今年、九州新幹線西九州ルート、長崎駅周辺の整備、交流拠点施設の建設や市庁舎の建て替えなど、将来の長崎のまちの基盤をつくる施策が待ったなしに進められようとしていますので議会として機能を更に発揮しなければなりません。  
今後とも、長崎市の発展のため、市政の活性化を目指すと共に、常に市民の皆さんと同じ目線に立ち、生まれ育った長崎を多くの皆さんに住んでいて良かった住みたいといわれるような、郷土長崎の発展に向けて全力で取り組んで行く所存でありますので、皆さま方の旧に倍するご支援・ご協力・ご指導を賜りますよう、よろしく願いたします。

長崎市議会議員 五輪 清隆



市民クラブは、令和元年10月18日(金)に田上市長へ、令和2年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。要求書は、市政運営に対する考え方や市長が令和元年度「施政方針」で掲げた新たな重点プロジェクト「こども元気プロジェクト」「長崎×若者プロジェクト」「まちMICEプロジェクト」などに関する要望や人口減少・大型行事・平和問題等を含めて、従来の内容も踏襲し政策要求を大きく8項目について提出しました。政策要求の回答は、2月5日(水)に受ける予定となっています。

令和2年度の主な重点課題(抜粋)

- (1) 安心して子どもを産める環境づくりと健全な子どもを育てる社会づくりの推進に努めるとともに、子育て世代を支援するために「子育て支援センター」未設置地区への設置を進めること。
- (2) 高齢者交通費助成(70歳以上)のICカード化を図ること。
- (3) 仮称「地域コミュニティ連絡協議会」の設置については、地域事情に合わせて自治会や各種団体などへの十分な説明と地域住民への意見を聴取し十分な理解のもと進めること。また、地域の担い手が少ない小規模なコミュニティに対しても積極的な支援を行うこと。併せて、自治会加入率の低下に歯止めをかける対策にも努めること。
- (4) 企業誘致で雇用確保、定住人口の維持  
将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・維持するとともに、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて全力で取り組むこと。
- (5) 長崎駅周辺(尾上町・幸町)の環境整備  
新市庁舎・新たな文化施設・MICEを含めた長崎駅周辺整備・新幹線整備と連続立体交差事業と民間で建設計画のスタジアム等大型事業の建設については、それぞれの関係先と連携のもと、完成後の交通体系など十分精査し万全を期すよう努めること。

やさしい街づくり / 元気な長崎!

長崎市議会議員



いつわ清隆 だより 第71号

令和2年1月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



令和2年2月上旬に運行予定のスロークーパ前にて

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで良い新年を迎えられた事とお喜び申し上げますと共に皆様方には、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。平成から令和となった昨年は、異常気象により8月の九州北部の集中豪雨、9月には千葉県周辺に甚大な被害を出した台風15号など、毎年のように自然災害が発生しています。長崎市も昭和57年7月23日に集中豪雨により死者・行方不明者299名の長崎大水害を経験しています、その当時を知る市民・議員・職員も少なくなっていますので、風化させない取り組みを行わなければなりません。

いつわ清隆 10~12月 活動のあゆみ



11月3日 地域の秋まつり



11月1日 組合研修で市政報告



10月14日 市民体育・レクリエーション(ボウリング競技会)



11月24日 フランシスコ教皇様の集いに参列



11月17日 ハートセンター文化祭



11月9日 ながさき自治振興推進大会

いつわ清隆の主な役割

- 【議会】
  - 建設水道委員会委員
  - 議会運営委員会委員
  - 長崎市議会核兵器廃絶議員連盟会長
  - 長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟副会長
- 【行政】
  - 長崎市行政改革審議会委員
- 【党務】
  - 国民民主党長崎県連常任幹事
- 【地域】
  - 女の都自治会会長
  - 西浦上東部地区自治連合会副会長
  - 女の都地区青少年育成協議会顧問
  - 長崎市消防団第三分団後援会副会長
  - 長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部支部部長
- 【その他】
  - 長崎市ボウリング協会会長
  - 瓊浦学園評議員

ご相談はお気軽に!

k.itsuwa

長崎市の都1丁目1-44-413  
自 宅 861-9599  
生活相談室 861-1985

私にとって、昨年は「貴重な経験と感謝の年」でした。一昨年3月に市議会議長へ就任し昨年の5月1日までの任期でありましたが、関係者の皆さんと政府や国会議員への要望活動や各種行事の参加など貴重な経験をさせて頂きました。又、4月に長崎市議会議員選挙では5期目の挑戦で皆さま方の多大なご支援で当選することが出来ました。長崎市が早急に取り組むべき最重要課題は、定住人口減少対策であり抜本的な対応策を行わなければなりません。一昨年の人口流出は転入より2,376人多く全国の市町村の中でワースト1位で歯止めがかからない状況となっています。長崎市の直近の人口の推移は、平成30年11月1日から令和元年11月1日までの1年間で5,261人減少していますので、長崎市に及ぼす財源の影響が大きくなる事が予想されます。また、①労働力人口の減少による地域経済への影響 ②少子化の進行による子育て・教育への影響 ③高齢化の進行による医療・福祉への影響が予想されます。今年、九州新幹線西九州ルート、長崎駅周辺の整備、交流拠点施設の建設や市庁舎の建て替えなど、将来の長崎のまちの基盤をつくる施策が待ったなしに進められようとしていますので議会として機能を更に発揮しなければなりません。今後とも、長崎市の発展のため、市政の活性化を目指すと共に、常に市民の皆さんと同じ目線に立ち、生まれ育った長崎を多くの皆さんに住んでいて良かった住みたいといわれるような、郷土長崎の発展に向けて全力で取り組んで行く所存でありますので、皆さま方の旧に倍するご支援・ご協力・ご指導を賜りますよう、よろしく願います。

長崎市議会議員 五輪 清隆

# 令和2年2月上旬運行開始予定

## 稲佐山公園(スロープカー整備)事業

### 1. 整備目的

平成24年10月の世界新三大夜景都市認定を受け、稲佐山公園の山頂展望台への来訪者増加に適切に対応するため、中腹駐車場から山頂までのアクセス向上を目的に「長崎稲佐山スロープカー」を整備するもの。

### 2. 工事概要

事業期間：平成28年度～令和元年度  
事業計画：スロープカー整備(延長約500m)、駅舎などの整備  
総事業費：20億4,400万円



### 3. スロープカー施設概要

#### 〈施設内容〉

- ①延 長：500メートル
  - ②車 両：40人／両×2両連結＝最大乗車80人
  - ③レ ー ン 数：2レーン
  - ④最大輸送数：960人／時間／往復【片道480人／時間】
  - ⑤片道所要時間：約8分(運行速度 約80m／分)
  - ⑥駅 舎：2箇所(中腹駅、山頂駅)
- 〈運行時間〉 9：00～22：00  
 昼間 9：00～18：00(1レーン使用)・夜間 18：00～22：00(2レーン使用)  
 〈運行間隔〉 昼間 20分(1レーン使用)・夜間 15分(2レーン使用)  
 〈運 行 日〉 通年(但し、高圧電気点検のため1日休止)

### 4. スロープカー利用料金

区 分	個 人		団体(15人以上)	
	片道	往復	片道	往復
一般(※1)	300円	500円	240円	400円
高等学校又は中学校の生徒	220円	370円	170円	290円
小児(※2)	150円	250円	120円	200円

- 一般(※1)：15歳以上の者(高等学校及び中学校の生徒を除く)をいう。
- 小児(※2)：1歳以上12歳以下の者(中学校の生徒を除く)をいう。
- 保護者が同伴する1歳以上6歳未満の者の料金は、保護者1人につき1人を無料とする。

# 一般会計補正予算(総額:約25億円)

## 93議案を可決・同意!

令和元年11月議会



### 主な予算の内容

- ◆財産管理費  
建物等維持補修費  
：1,573万2千円  
市有施設の改修にかかる経費を増額するもの。
- ◆地域生活支援費  
移動支援費：860万8千円  
障害者の移動支援において、利用者数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。
- ◆障害者保健医療対策費  
更生医療給付費  
：6,884万6千円  
障害者の更生医療において、給付件数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。
- ◆高齢者福祉施設整備事業費  
補助金(小規模多機能型居宅介護事業所)：6,400万円  
小規模多機能型居宅介護事業所の施設整備に対し助成するもの。
- ◆西町(1施設)  
定員：登録29人、通い18人、泊まり9人
- ◆高島町(1施設)  
定員：登録18人、通い12人、泊まり6人
- ◆子育て支援環境整備費  
：2,283万3千円
- ①特定教育・保育施設等実施事業費補助金：497万1千円  
延長保育を実施する保育所等に対する補助金について、事業に係る補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。
- 当初予算額  
：1億5,698万4千円

長崎市議会・令和元年11月定例会は、11月26日(火)から12月13日(金)までの18日間の日程で開催されました。一般会計補正予算案は、総額25億円、条例案など93議案が可決・同意されましたが、議会閉会日の本会議に急ぎ、市長より市立仁田佐古小学校の新校舎の併用開始時期を来年1月8日から2月下旬へ延長する議案が提出され、市長より「前代未聞の事態となり申し訳ない」と謝罪がありました。併用開始時期が延長された大きな要因は、市と施工業者との工程管理ミス・市役所内の連携不足であり、委員会では批判が相次いだ。再発防止策を要請し可決されました。また、議会提案の「児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書」「ライドシェア推進に対する慎重な検討を求める意見書」は全会一致で可決しました。

### ②一般型一時預かり費補助金

：195万3千円  
就学前児童(非在園児)の一時預かりを実施する保育所等に対する補助金について、事業にかかる補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。

### ③幼稚園型一時預かり費補助金

：1,590万9千円  
教育時間終了後の在園児預かりを実施する幼稚園等に対する補助金について、新たに開所時間が長い施設等に加算する制度が追加されたため、その経費を増額するもの。

### ●当初予算額

：5,869万3千円

## 「アレガ軍艦島」売却先決まらず

温泉・宿泊施設「野母崎炭酸温泉アレガ軍艦島」を民間へ売却するために公募で、11月8日から12月7日の1か月間、申し込み受付を行い2事業者が手を挙げていました。審査から仮契約までの時間が短い「ボイラーや電気設備の業務を引き継ぐ時間がない」との理由で辞退され、売却先が決まりませんでした。長崎市は公募がなかった事を受け、11月の現地説明会に参加した5社から詳しい辞退理由を聞き、条件面を再検討し、募集条件などを見直した上で、売却先を再公募する方針を示しました。「アレガ軍艦島」は、12月末で公の施設として閉館し、現在の指定管理者の運営も終了する。売却先が決まるまでは市が設備を管理することになります。



### ◆恐竜博物館整備事業費

恐竜博物館建設  
：1億1,980万円  
現在建設中の恐竜博物館において、土質調査の結果に基づき杭工事費を追加するとともに、一部2階設置や1階通路の拡幅による増床等に係る工事費を増額するもの。

### ◆市営住宅管理費

：295万2千円  
令和2年4月から全市域の市営住宅を指定管理者制度とすることに伴い、市営住宅指定管理者事務所を設置するための経費を増額するもの。

設置場所 南総合事務所  
三重地域センター

## 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

暴力を振るう、食事を与えない等の行為によって保護者が我が子を死に追いやるという深刻な児童虐待事件が相次いでいます。こうした事態を防ぐため、国は虐待の発生防止、早期発見に向けた対応を行ってききましたが、悲惨な児童虐待は依然として発生し続けています。

特に、2018年3月の東京都目黒区での女児虐待死事件を受け、政府は同年7月に緊急総合対策を取りまとめました。しかし、2019年1月に千葉県野田市で再び痛ましい児童虐待死事件が発生しました。児童相談所、学校、教育委員会及び警察も把握していながら、なぜ救えなかったのか、悔やまれてなりません。

その後、同年6月19日、児童のしつけに際し体罰を加えることを禁止するとともに、児童相談所の体制強化などを図る児童福祉法等改正案が成立しております。

しかしながら、法案が成立した6月にも札幌市で児童虐待によって衰弱死する事件が発生しており、痛ましい事件が後を絶たない現実があります。

よって、国におかれましては、引き続き、児童虐待防止対策のさらなる強化を図るため、次の事項について取り組むよう強く要望いたします。

1. 学校における虐待防止体制の構築や警察との連携強化、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政的支援を行うこと。
2. 虐待防止のための情報共有システムを全ての都道府県・市町村で速やかに構築できるよう対策を講じるとともに、全国統一の運用ルールや基準を国において速やかに定めること。
3. DV被害者支援を行う婦人相談所等においては、児童虐待を発見しやすい立場にあることから、児童虐待が疑われる情報を得た場合は児童相談所に通告するなど、児童虐待の早期発見・支援のため、児童相談所とDV被害者支援を行う婦人相談所等との連携を強化し、児童虐待とDVの双方から親子を護る体制強化を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月13日

長崎市議会

# 令和2年2月上旬運行開始予定

## 稲佐山公園(スロープカー整備)事業

### 1. 整備目的

平成24年10月の世界新三大夜景都市認定を受け、稲佐山公園の山頂展望台への来訪者増加に適切に対応するため、中腹駐車場から山頂までのアクセス向上を目的に「長崎稲佐山スロープカー」を整備するもの。

### 2. 工事概要

事業期間：平成28年度～令和元年度  
事業計画：スロープカー整備(延長約500m)、駅舎などの整備  
総事業費：20億4,400万円



### 3. スロープカー施設概要

- 〈施設内容〉
- ①延 長：500メートル
  - ②車 両：40人／両×2両連結＝最大乗車80人
  - ③レ ー ン 数：2レーン
  - ④最大輸送数：960人／時間／往復【片道480人／時間】
  - ⑤片道所要時間：約8分(運行速度 約80m／分)
  - ⑥駅 舎：2箇所(中腹駅、山頂駅)
- 〈運行時間〉 9：00～22：00  
 昼間 9：00～18：00(1レーン使用)・夜間 18：00～22：00(2レーン使用)
- 〈運行間隔〉 昼間 20分(1レーン使用)・夜間 15分(2レーン使用)
- 〈運 行 日〉 通年(但し、高圧電気点検のため1日休止)

### 4. スロープカー利用料金

区 分	個 人		団体(15人以上)	
	片道	往復	片道	往復
一般(※1)	300円	500円	240円	400円
高等学校又は中学校の生徒	220円	370円	170円	290円
小児(※2)	150円	250円	120円	200円

- 一般(※1)：15歳以上の者(高等学校及び中学校の生徒を除く)をいう。
- 小児(※2)：1歳以上12歳以下の者(中学校の生徒を除く)をいう。
- 保護者が同伴する1歳以上6歳未満の者の料金は、保護者1人につき1人を無料とする。

# 一般会計補正予算(総額:約25億円)

## 93議案を可決・同意!

令和元年11月議会



### 主な予算の内容

- ◆財産管理費  
建物等維持補修費  
：1,573万2千円  
市有施設の改修にかかる経費を増額するもの。
- ◆地域生活支援費  
移動支援費：860万8千円  
障害者の移動支援において、利用者数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。
- ◆障害者保健医療対策費  
更生医療給付費  
：6,884万6千円  
障害者の更生医療において、給付件数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。
- ◆高齢者福祉施設整備事業費  
補助金(小規模多機能型居宅介護事業所)：6,400万円  
小規模多機能型居宅介護事業所の施設整備に対し助成するもの。
- ◆西町(1施設)  
定員：登録29人、通い18人、泊まり9人
- ◆高島町(1施設)  
定員：登録18人、通い12人、泊まり6人
- ◆子育て支援環境整備費  
：2,283万3千円
- ①特定教育・保育施設等実施事業費補助金：497万1千円  
延長保育を実施する保育所等に対する補助金について、事業に係る補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。
- 当初予算額  
：1億5,698万4千円

長崎市議会・令和元年11月定例会は、11月26日(火)から12月13日(金)までの18日間の日程で開催されました。一般会計補正予算案は、総額25億円、条例案など93議案が可決・同意されましたが、議会閉会日の本会議に急ぎ、市長より市立仁田佐古小学校の新校舎の併用開始時期を来年1月8日から2月下旬へ延長する議案が提出され、市長より「前代未聞の事態となり申し訳ない」と謝罪がありました。併用開始時期が延長された大きな要因は、市と施工業者との工程管理ミス・市役所内の連携不足であり、委員会では批判が相次いだ。再発防止策を要請し可決されました。また、議会提案の「児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書」「ライドシェア推進に対する慎重な検討を求める意見書」は全会一致で可決しました。

### ②一般型一時預かり費補助金

：195万3千円  
就学前児童(非在園児)の一時預かりを実施する保育所等に対する補助金について、事業にかかる補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。

### ③幼稚園型一時預かり費補助金

：1,590万9千円  
教育時間終了後の在園児預かりを実施する幼稚園等に対する補助金について、新たに開所時間が長い施設等に加算する制度が追加されたため、その経費を増額するもの。

### ●当初予算額

：5,869万3千円

### ◆恐竜博物館整備事業費

恐竜博物館建設  
：1億1,980万円  
現在建設中の恐竜博物館において、土質調査の結果に基づき杭工事費を追加するとともに、一部2階設置や1階通路の拡幅による増床等に係る工事費を増額するもの。

### ◆市営住宅管理費

：295万2千円  
令和2年4月から全市域の市営住宅を指定管理者制度とすることに伴い、市営住宅指定管理者事務所を設置するための経費を増額するもの。

設置場所 南総合事務所  
三重地域センター

## 「アレガ軍艦島」売却先決まらず

温泉・宿泊施設「野母崎炭酸温泉アレガ軍艦島」を民間へ売却するために公募で、11月8日から12月7日の1か月間、申し込み受付を行い2事業者が手を挙げていました。審査から仮契約までの時間が短い「ボイラーや電気設備の業務を引き継ぐ時間がない」との理由で辞退され、売却先が決まりませんでした。長崎市は公募がなかった事を受け、11月の現地説明会に参加した5社から詳しい辞退理由を聞き、条件面を再検討し、募集条件などを見直した上で、売却先を再公募する方針を示しました。「アレガ軍艦島」は、12月末で公の施設として閉館し、現在の指定管理者の運営も終了する。売却先が決まるまでは市が設備を管理することになります。



## 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

暴力を振るう、食事を与えない等の行為によって保護者が我が子を死に追いやるといった深刻な児童虐待事件が相次いでいます。こうした事態を防ぐため、国は虐待の発生防止、早期発見に向けた対応を行ってききましたが、悲惨な児童虐待は依然として発生し続けています。

特に、2018年3月の東京都目黒区での女児虐待死事件を受け、政府は同年7月に緊急総合対策を取りまとめました。しかし、2019年1月に千葉県野田市で再び痛ましい児童虐待死事件が発生しました。児童相談所、学校、教育委員会及び警察も把握していながら、なぜ救えなかったのか、悔やまれてなりません。

その後、同年6月19日、児童のしつけに際し体罰を加えることを禁止するとともに、児童相談所の体制強化などを図る児童福祉法等改正案が成立しております。

しかしながら、法案が成立した6月にも札幌市で児童虐待によって衰弱死する事件が発生しており、痛ましい事件が後を絶たない現実があります。

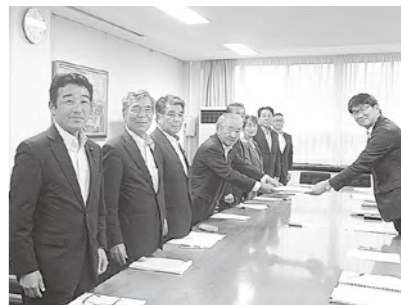
よって、国におかれましては、引き続き、児童虐待防止対策のさらなる強化を図るため、次の事項について取り組むよう強く要望いたします。

1. 学校における虐待防止体制の構築や警察との連携強化、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政的支援を行うこと。
2. 虐待防止のための情報共有システムを全ての都道府県・市町村で速やかに構築できるよう対策を講じるとともに、全国統一の運用ルールや基準を国において速やかに定めること。
3. DV被害者支援を行う婦人相談所等においては、児童虐待を発見しやすい立場にあることから、児童虐待が疑われる情報を得た場合は児童相談所に通告するなど、児童虐待の早期発見・支援のため、児童相談所とDV被害者支援を行う婦人相談所等との連携を強化し、児童虐待とDVの双方から親子を護る体制強化を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月13日

長崎市議会



市民クラブは、令和元年10月18日(金)に田上市長へ、令和2年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。要求書は、市政運営に対する考え方や市長が令和元年度「施政方針」で掲げた新たな重点プロジェクト「こども元気プロジェクト」「長崎×若者プロジェクト」「まちMIC Eプロジェクト」などに関する要望や人口減少・大型行事・平和問題等を含めて、従来の内容も踏襲し政策要求を大きく8項目について提出しました。政策要求の回答は、2月5日(水)に受ける予定となっております。

令和2年度の主な重点課題(抜粋)

- (1)安心して子どもを産める環境づくりと健全な子どもを育てる社会づくりの推進に努めるとともに、子育て世代を支援するために「子育て支援センター」未設置地区への設置を進めること。
- (2)高齢者交通費助成(70歳以上)のICカード化を図ること。
- (3)仮称「地域コミュニティ連絡協議会」の設置については、地域事情に合わせて自治会や各種団体などへの十分な説明と地域住民への意見を聴取し十分な理解のもと進めること。また、地域の担い手が少ない小規模なコミュニティに対しても積極的な支援を行うこと。併せて、自治会加入率の低下に歯止めをかける対策にも努めること。
- (4)企業誘致で雇用確保、定住人口の維持  
将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・維持するとともに、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて全力で取り組むこと。
- (5)長崎駅周辺(尾上町・幸町)の環境整備  
新市庁舎・新たな文化施設・MIC Eを含めた長崎駅周辺整備・新幹線整備と連続立体交差事業と民間で建設計画のスタジアム等大型事業の建設については、それぞれの関係先と連携のもと、完成後の交通体系など十分精査し万全を期すよう努めること。

やさしい街づくり / 元気な長崎!

長崎市議会議員



いつわ清隆 だより 第71号

令和2年1月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



令和2年2月上旬に運行予定のスロークーパ前にて

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで良い新年を迎えられた事とお喜び申し上げますと共に皆様方には、ご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。  
平成から令和となった昨年は、異常気象により8月の九州北部の集中豪雨、9月には千葉県周辺に甚大な被害を出した台風15号など、毎年のように自然災害が発生しています。  
長崎市も昭和57年7月23日に集中豪雨により死者・行方不明者299名の長崎大水害を経験しています、その当時を知る市民・議員・職員も少なくなっていますので、風化させない取り組みを行わなければなりません。

いつわ清隆 10~12月 活動のあゆみ



11月3日 地域の秋まつり



11月1日 組合研修で市政報告



10月14日 市民体育・レクリエーション(ボウリング競技会)



11月24日 フランシスコ教皇様の集いに参列



11月17日 ハートセンター文化祭



11月9日 ながさき自治振興推進大会

いつわ清隆の主な役割

- 【議会】
  - 建設水道委員会委員
  - 議会運営委員会委員
  - 長崎市議会核兵器廃絶議員連盟会長
  - 長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟副会長
- 【行政】
  - 長崎市行政改革審議会委員
- 【党務】
  - 国民民主党長崎県連常任幹事
- 【地域】
  - 女の都自治会会長
  - 西浦上東部地区自治連合会副会長
  - 女の都地区青少年育成協議会顧問
  - 長崎市消防団第三分団後援会副会長
  - 長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部支部部長
- 【その他】
  - 長崎市ボウリング協会会長
  - 瓊浦学園評議員

ご相談はお気軽に!

長崎市の都1丁目1-44-413  
自 宅 861-9599  
生活相談室 861-1985

k.itsuwa

私にとって、昨年は「貴重な経験と感謝の年」でした。一昨年3月に市議会議長へ就任し昨年の5月1日までの任期でありましたが、関係者の皆さんと政府や国会議員への要望活動や各種行事の参加など貴重な経験をさせて頂きました。  
又、4月に長崎市議会議員選挙では5期目の挑戦で皆さま方の多大なご支援で当選することが出来ました、感謝するのみです。  
長崎市が早急に取り組むべき最重要課題は、定住人口減少対策であり抜本的な対応策を行わなければなりません。  
一昨年の人口流出は転入より2,376人多く全国の市町村の中でワースト1位で歯止めがかからない状況となっております。  
長崎市の直近の人口の推移は、平成30年11月1日から令和元年11月1日までの1年間で5,261人減少していますので、長崎市に及ぼす財源の影響が大きくなる事が予想されます。  
また、①労働力人口の減少による地域経済への影響 ②少子化の進行による子育て・教育への影響 ③高齢化の進行による医療・福祉への影響が予想されます。  
今年、九州新幹線西九州ルート、長崎駅周辺の整備、交流拠点施設の建設や市庁舎の建て替えなど、将来の長崎のまちの基盤をつくる施策が待ったなしに進められようとしていますので議会として機能を更に発揮しなければなりません。  
今後とも、長崎市の発展のため、市政の活性化を目指すと共に、常に市民の皆さんと同じ目線に立ち、生まれ育った長崎を多くの皆さんに住んでいて良かった住みたいといわれるような、郷土長崎の発展に向けて全力で取り組んで行く所存でありますので、皆さま方の旧に倍するご支援・ご協力・ご指導を賜りますよう、よろしく願います。

長崎市議会議員 五輪 清隆

# 令和2年2月上旬運行開始予定

## 稲佐山公園(スロープカー整備)事業

### 1. 整備目的

平成24年10月の世界新三大夜景都市認定を受け、稲佐山公園の山頂展望台への来訪者増加に適切に対応するため、中腹駐車場から山頂までのアクセス向上を目的に「長崎稲佐山スロープカー」を整備するもの。

### 2. 工事概要

事業期間：平成28年度～令和元年度  
事業計画：スロープカー整備(延長約500m)、駅舎などの整備  
総事業費：20億4,400万円



### 3. スロープカー施設概要

#### 〈施設内容〉

- ①延 長：500メートル
  - ②車 両：40人/両×2両連結=最大乗車80人
  - ③レ ー ン 数：2レーン
  - ④最大輸送数：960人/時間/往復【片道480人/時間】
  - ⑤片道所要時間：約8分(運行速度 約80m/分)
  - ⑥駅 舎：2箇所(中腹駅、山頂駅)
- 〈運行時間〉 9：00～22：00  
 昼間 9：00～18：00(1レーン使用)・夜間 18：00～22：00(2レーン使用)  
 〈運行間隔〉 昼間 20分(1レーン使用)・夜間 15分(2レーン使用)  
 〈運 行 日〉 通年(但し、高圧電気点検のため1日休止)

### 4. スロープカー利用料金

区 分	個 人		団体(15人以上)	
	片道	往復	片道	往復
一般(※1)	300円	500円	240円	400円
高等学校又は中学校の生徒	220円	370円	170円	290円
小児(※2)	150円	250円	120円	200円

- 一般(※1)：15歳以上の者(高等学校及び中学校の生徒を除く)をいう。
- 小児(※2)：1歳以上12歳以下の者(中学校の生徒を除く)をいう。
- 保護者が同伴する1歳以上6歳未満の者の料金は、保護者1人につき1人を無料とする。

# 一般会計補正予算(総額:約25億円)

## 93議案を可決・同意!

令和元年11月議会



### 主な予算の内容

- ◆財産管理費  
建物等維持補修費  
：1,573万2千円  
市有施設の改修にかかる経費を増額するもの。
- ◆地域生活支援費  
移動支援費：860万8千円  
障害者の移動支援において、利用者数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。
- ◆障害者保健医療対策費  
更生医療給付費  
：6,884万6千円  
障害者の更生医療において、給付件数の増加などから当初の見込みを上回る給付費について増額するもの。
- ◆高齢者福祉施設整備事業費  
補助金(小規模多機能型居宅介護事業所)：6,400万円  
小規模多機能型居宅介護事業所の施設整備に対し助成するもの。
- ◆子育て支援環境整備費  
①特定教育・保育施設等実施事業費補助金：497万1千円  
延長保育を実施する保育所等に対する補助金について、事業に係る補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。
- 当初予算額  
：1億5,698万4千円
- ◆西町(1施設)  
定員：登録29人、通い18人、泊まり9人
- ◆高島町(1施設)  
定員：登録18人、通い12人、泊まり6人
- ◆子育て支援環境整備費  
：2,283万3千円
- ①特定教育・保育施設等実施事業費補助金：497万1千円  
延長保育を実施する保育所等に対する補助金について、事業に係る補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。
- 当初予算額  
：1億5,698万4千円

長崎市議会・令和元年11月定例会は、11月26日(火)から12月13日(金)までの18日間の日程で開催されました。一般会計補正予算案は、総額25億円、条例案など93議案が可決・同意されましたが、議会閉会日の本会議に急ぎ、市長より市立仁田佐古小学校の新校舎の併用開始時期を来年1月8日から2月下旬へ延長する議案が提出され、市長より「前代未聞の事態となり申し訳ない」と謝罪がありました。併用開始時期が延長された大きな要因は、市と施工業者との工程管理ミス・市役所内の連携不足であり、委員会では批判が相次いだ。再発防止策を要請し可決されました。また、議会提案の「児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書」「ライドシェア推進に対する慎重な検討を求める意見書」は全会一致で可決しました。

### ②一般型一時預かり費補助金

：195万3千円  
就学前児童(非在園児)の一時預かりを実施する保育所等に対する補助金について、事業にかかる補助基準額の改定に係る経費を増額するもの。

### ③幼稚園型一時預かり費補助金

：1,590万9千円  
教育時間終了後の在園児預かりを実施する幼稚園等に対する補助金について、新たに開所時間が長い施設等に加算する制度が追加されたため、その経費を増額するもの。

### ●当初予算額

：5,869万3千円

### 「アレガ軍艦島」売却先決まらず

温泉・宿泊施設「野母崎炭酸温泉アレガ軍艦島」を民間へ売却するために公募で、11月8日から12月7日の1か月間、申し込み受付を行い2事業者が手を挙げていましたが、「審査から仮契約までの時間が短い」「ボイラーや電気設備の業務を引き継ぐ時間がない」との理由で辞退され、売却先が決まりませんでした。長崎市は公募がなかった事を受け、11月の現地説明会に参加した5社から詳しい辞退理由を聞き、条件面を再検討し、募集条件などを見直した上で、売却先を再公募する方針を示しました。「アレガ軍艦島」は、12月末で公の施設として閉館し、現在の指定管理者の運営も終了する。売却先が決まるまでは市が設備を管理することになります。



### ◆恐竜博物館整備事業費

恐竜博物館建設  
：1億1,980万円  
現在建設中の恐竜博物館において、土質調査の結果に基づき杭工事費を追加するとともに、一部2階設置や1階通路の拡幅による増床等に係る工事費を増額するもの。

### ◆市営住宅管理費

：295万2千円  
令和2年4月から全市域の市営住宅を指定管理者制度とすることに伴い、市営住宅指定管理者事務所を設置するための経費を増額するもの。

設置場所 南総合事務所  
三重地域センター

### 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

暴力を振るう、食事を与えない等の行為によって保護者が我が子を死に追いやるといった深刻な児童虐待事件が相次いでいます。こうした事態を防ぐため、国は虐待の発生防止、早期発見に向けた対応を行ってききましたが、悲惨な児童虐待は依然として発生し続けています。

特に、2018年3月の東京都目黒区での女児虐待死事件を受け、政府は同年7月に緊急総合対策を取りまとめました。しかし、2019年1月に千葉県野田市で再び痛ましい児童虐待死事件が発生しました。児童相談所、学校、教育委員会及び警察も把握していながら、なぜ救えなかったのか、悔やまれてなりません。

その後、同年6月19日、児童のしつけに際し体罰を加えることを禁止するとともに、児童相談所の体制強化などを図る児童福祉法等改正案が成立しております。しかしながら、法案が成立した6月にも札幌市で児童虐待によって衰弱死する事件が発生しており、痛ましい事件が後を絶たない現実があります。

よって、国におかれましては、引き続き、児童虐待防止対策のさらなる強化を図るため、次の事項について取り組むよう強く要望いたします。

1. 学校における虐待防止体制の構築や警察との連携強化、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政的支援を行うこと。
2. 虐待防止のための情報共有システムを全ての都道府県・市町村で速やかに構築できるよう対策を講じるとともに、全国統一の運用ルールや基準を国において速やかに定めること。
3. DV被害者支援を行う婦人相談所等においては、児童虐待を発見しやすい立場にあることから、児童虐待が疑われる情報を得た場合は児童相談所に通告するなど、児童虐待の早期発見・支援のため、児童相談所とDV被害者支援を行う婦人相談所等との連携を強化し、児童虐待とDVの双方から親子を護る体制強化を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月13日

長崎市議会